

東国布教の本拠地、稲田草庵

親鸞聖人と笠間の関係【第1回】

協力／稲田禅房 西念寺

【主な参考文献】今井雅晴『茨城と親鸞』（茨城新聞社・2008年）、加藤智晃『図説あらすじでわかる！親鸞の教え』（青春出版社・2010年）、田中治郎（菊村紀彦 監修）『面白いほどよくわかる親鸞』（日本文芸社・2008年）



浄土真宗の宗祖である親鸞聖人と笠間の関わりは深く、関東在住約20年の大半を稲田草庵で過ごされたと伝わっています。そんな親鸞と笠間との関わりを3回連続で紹介していきます。



建保2年(1214年)頃、42歳だった親鸞は越後から家族を伴い旅立ち、やがて笠間郡稲田郷(現在の笠間市稲田)へ到着します。文暦元年(1234年)頃に帰京するまでの約20年間、稲田草庵を東国布教の本拠地として活動、元仁元年(1224年)頃には主著『教行信証』の草稿を完成させたと考えられています。稲田草庵跡に建つ稲田禅房 西念寺(稲田御坊)には、親鸞ゆかりのものが多く残されています。

本堂裏手の高台に登ってみると、吾国山(わがくにさん)から加波山(かばさん)へと連なる山嶺が見えます。親鸞はこの情景を懐かしんだと伝えられ、比叡山(ひえいざん)の双耳峰(そうじほう)と重ね見ていたのかもしれません。また、親鸞お手植えとされる「お葉つき銀杏」、親鸞の遺骨が納められている「御頂骨堂(六角堂)」や室町時代初期頃建立の茅葺き山門、安土桃山時代に建立され江戸時代に再建された「太子堂」など見所が多くあります。親鸞の興味深いエピソードを知ることができるので、ぜひこの機会に西念寺を訪れてみてください。



次回以降は、親鸞を襲った山伏・辨円(べんねん)の「辨円懺悔の桜」や、親鸞が帰京する際に稲田の人々と別れを告げた「見返り橋」などを紹介していきます。



1. 前方に見える吾国山(わがくにさん)が比叡山を彷彿させることから、親鸞聖人は稲田の地形を懐かしんだと伝えられています。2. 親鸞聖人御頂骨堂。3. 天正13年(1585年)に笠間城主時廣によって建立された太子堂。現在のお堂は延享4年(1747年)に再建されたもの。4. 稲田禅房 西念寺(稲田御坊)の山門。問い合わせ／西念寺 ☎0296-74-2042

笠間工芸の丘 問／tel 0296-70-1313

陶四人展 ～春から始まる、ちょっと楽しい器達～
3/30(水)～4/10(日)
北川隆夫の「大きな器小さな器展」 4/6(水)～4/24(日)
宮本雅宏・まり作陶展 4/13(水)～4/24(日)
新進作家陶芸展2011 4/27(水)～5/29(日)
ロイ・マーティン作陶展 6/1(水)～6/19(日)
使い方は抽象的Ⅱ 6/8(水)～6/19(日)
love bowl in kasama 2011 6/22(水)～7/10(日)
またたく Café ～空想するうつわとおかし～ 6/22(水)～7/10(日)

笠間稲荷神社 問／tel 0296-73-0001

例大祭 4/9(土) 11:00～
昭和祭 4/29(金・祝) 8:00～
八重の藤・大藤 5月上旬頃
御田植祭 5/10(火) 10:00～
場／笠間稲荷神社神饌田(笠間市民体育館近く)
本宮祭 5/19(木)～21(土) 11:00～
車の茅の輪くぐり 6/26(日) 10:00～
場／佐白山麓笠間稲荷神社外苑駐車場
夏越の大祓・茅ノ輪くぐり 6/30(木) 16:30～

出雲大社 常陸 問／tel 0296-74-3000

月始祭 4/1(金) 9:00～
薬神社例大祭 4/29(金・祝) 11:00～
月始祭 5/1(日) 9:00～
甲子祭 5/9(月) 8:00～
春季大祭(お土とり) 5/15(日) 11:00～
月始祭 6/1(水) 9:00～
夏季大祓祭 6/26(日) 14:00～

笠間日動美術館 問／tel 0296-72-2160

さくら咲く 昭和会受賞作家展 3/17(木)～4/17(日)
学芸員によるギャラリートーク
3/20(日) 14:00～、4/3(日) 14:00～
お花からのおくりもの(抽選でお花の種をプレゼント!)
3/17(木)～4/17(日)
花見の茶会 4/9(土) 場／春風萬里荘 夢境庵
モリス・ユトリロと魅惑の風景画
4/21(木)～6/26(日)
「美の巨匠たち」刊行記念講演会
5/14(土) 15:00～ 講師／長谷川 智恵子
イリーナ・メジュエワ ピアノコンサート
5/14(土) 18:00～ 開／9:30～17:00(入館受付は16:30まで)
休／月曜(3/21開館、翌日休館、5/2開館、5/6休館)
料／大人1000円、大学・高校生700円、中学・小学生500円、65歳以上800円
(春風萬里荘との共通券) 一般1400円、高大生900円、小中生600円、65歳以上1100円
※20名以上の団体は各200円割引

茨城県陶芸美術館 問／tel 0296-70-0011

筑波大学所蔵石井コレクション 東洋陶磁の華
4/16(土)～6/19(日) 料／一般700円(550円)、
高大生500円(400円)、小中生250円(200円)
※()は団体割引料金
現代茨城の陶芸展
～5/15(日)、5/18(水)～8/21(日)
コレクション展／近現代日本陶芸の巨匠たち
～5/29(日)、5/31(火)～9/25(日)
開／9:30～17:00(入館受付は16:30まで)
休／月曜(祝日の場合は翌日、5/2開館)

稲田禅房 西念寺(稲田御坊) 問／tel 0296-74-2042

親鸞聖人御頂骨堂(六角堂)結縁春季永代経法要
3/30(日)～4/3(日) ※4/2・4/3は六角堂への「おねり」とお説教あり。講師・松島法城師(兵庫県専福寺住職)

●あたご山桜まつり

4/1(金)～5/1(日) 4/10(日) 三味線の演奏

場／愛宕山大駐車場

問／tel 0296-72-9222(笠間観光協会)

●第10回 北山公園 桜まつり

4/9(土)～4/16(土)

4/9(土) 茨城県警音楽隊、バンド、神輿、等
4/10(日) 穴戸小学校吹奏楽、太鼓、日本舞踊、よさこいソーラン、等

花火大会 4/9(土) 19:00～19:30 ※雨天順延
ライトアップ 4/7(木)～4/16(土) 18:00～21:00

●第40回 笠間つつじまつり

4/16(土)～5/8(日) 8:00～18:00

料／一般(高校生以上) 500円

問／tel 0296-77-1101(笠間市商工観光課)

●第5回 磯蔵酒造 ちよっ蔵新酒を祝う会

4/24(日) 11:00～21:00頃

料／2000円(新酒四合瓶、酒器付)

問／0296-74-2002(磯蔵酒造)

●第30回 笠間の陶炎祭(ひまつり)

4/29(金・祝)～5/5(木・祝) 9:00～17:00(5/3は21:00まで)

場／笠間芸術の森公園イベント広場

問／tel 0296-73-0058(笠間焼協同組合)

●匠工房・笠間フェア

4/29(金・祝)～5/5(木・祝) 9:00～16:30

場／「匠工房・笠間」茨城県工業技術センター窯業指導所
問／tel 0296-72-0316

●九ちゃんの家を残そうイベント

4/29(金・祝)～5/5(木・祝) 場／九ちゃんの家

問／tel 090-2565-8681(九ちゃん会・小田部)

●合気神社大祭

4/29(金・祝) 11:00～ 場／合気神社

問／tel 0299-45-6071(財団法人合気会 茨城支部道場)

●笠間骨董我楽多市(かさまこつとうがらくたいち)

5/1(日)～5/4(水・祝) 9:00～17:00

場／笠間稲荷神社世目酒造駐車場

問／tel 0296-72-9222(笠間観光協会)

●よってらっ祭みてらっ祭

5/3(火・祝)・5/4(水・祝) 10:00～17:00

場／笠間駅前広場 問／tel 0296-72-0511(堀川)

●いちご狩り

5月末まで 9:30～15:30(受付は15:00まで)

料／2月1300円、3月1200円、4月1100円、5月1000円(3歳未満無料、20名以上割引有り※団体要予約)

南指原観光いちご園

休／月曜(祝日の場合は翌日)

問／tel 0296-70-3133(笠間クラインガルテン農産物直売所)

笠間観光いちご園

休／無休 問／tel 0296-72-9280(笠間みんげい)

●Sence of Wonder 2011

5/28(土) 10:00～21:00

場／笠間芸術の森公園

問／tel 03-6459-2765

●グリーンフェスタかさま

6/4(土) 16:00～18:30(予定)

UBSゴルフツアー選手権の出場選手のチャリティオークションや模擬店などが開催。

場／穴戸ヒルズカントリークラブイベント広場

問／tel 0296-72-9222(笠間観光協会)

●第9回 道の市

6/4(土)・6/5(日) 10:00～17:00

場／稻荷町交差点～笠間市商工会交差点

問／tel 0296-72-0119(さくらガス(株) 藤枝)

●路面喫茶

6/4(土)～6/26(日)の土曜と日曜 9:00～17:00

場／陶の小径 問／tel 0296-72-6865(やまさき陶苑)

●栗の家 骨董市

毎月第1・3日曜日 6:00～15:00 場／栗の家

問／tel 0299-45-5124(※悪天時:誠屋 tel 090-1660-3460)

●笠間いきいき市場

毎月第3日曜日 9:00～15:00 場／旧畜産試験場

問／tel 0296-78-3911(北山公園管理事務所)

粘土を自分で作るという体験・製陶ふくだ

陶芸家
探訪

笠間観光協会が企画する体験型周遊プラン「笠間発見伝」には、個性溢れる陶芸体験が用意されています。この陶芸体験をコーディネートする作家さん、窯元の皆さんを紹介するこのコーナー、3回目の今回は「製陶ふくだ」が登場！

「土を極める」水簾(すいひ)からはじめる陶芸体験
料金／お一人様 4,790 円～
協力／製陶ふくだ
旅行企画・実施／笠間発見ツアーズ
笠間発見伝 作家 ご予約受付中！



5代目当主の福田実さん。巨大花瓶と共に。



陶芸体験参加者と6代目当主の福田勝之さん。

江戸末期創業の「製陶ふくだ」は、庭に展示されている「巨大花瓶」をはじめ、今でも現役で使われている「登り窯」、世界の焼物を展示する「世界の焼物博物館」などを持つ、見どころいっぱいの窯元です。そんな製陶ふくだには、自作粘土を使って手ひねり体験が出来る陶芸体験プランが用意されています。このプランは水簾(すいひ)と呼ばれる水を利用し土を漉(こ)す方法で笠間の土を精製し、焼物の原料となる粘土を作るところからスタートします。土を極める本格的な陶芸体験ながら、子どもでも楽しく作業できるところが特徴で、全くの陶芸初心者でも無理なく参加することができます。「笠間は元々、陶芸をするための良い土が採れる場所。より多くの人が陶芸体験に参加してくれることで、笠間焼の魅力をたくさんの人に伝えていきたい」と、6代目当主の福田勝之さんが話してくれました。製陶ふくだは5代目当主の福田実さんを

中心に、昭和30年代には日本で先駆けて陶器のコーヒーカップやビールジョッキを作陶したり、高齢化社会を見越したユニバーサルデザインの陶器作りにいち早く着手するなど、常に時代の先を見た創作活動で注目を集めてきました。笠間の、あるいは日本の未来を真剣に考えながら創作活動を続ける「製陶ふくだ」の今後の活躍に、大いに期待したいところです。



世界の焼物博物館。現在 57 ヶ国、600 余点を収蔵。



北関東自動車道で茨城県唯一の P A

笠間再発見

KASAMA TERRACE 賑わう！



特産品各種や笠間メイドのスイーツなど、笠間らしいお土産が色々とそろっています。

【北関東自動車道について～18年を経て全線開通～】

北関東自動車道の全長は約150km。
平成5年12月4日に工事は始まり、
約18年の年月を経て、2011年3月
19日に全線開通。



笠間うどん／700円。1日30食限定。あんかけの汁が熱々。油揚げの中は鳥肉、レンコン、コンニャク、ゴボウなどを使った煮物入り。柚子胡椒のアクセントがグッド！



笠間いなり／680円。季節によって様々な味のいなり寿司が楽しめます。旅行ジャーナリストの小林しのぶさんもおすすめ。



大勢の人でにぎわう笠間PA「KASAMA TERRACE」。飲食コーナーでは、いなり寿司やうどんが食べられます。敷地内には笠間の窯元「製陶ふくだ」より寄贈された笠間焼の巨大花瓶が置かれています。

祝・全面開通！北関東自動車道、笠間名物“いなり寿司”が充実

今までトイレと休憩所だけだった笠間PAでしたが2010年12月21日、PA内に前面をガラス張りにした明るい雰囲気「KASAMA TERRACE」が新たにオープン。敷地内には笠間の窯元より寄贈された高さ8.5メートルの笠間焼の巨大花瓶が置かれ、売店には笠間メイドのスイーツや笠間焼などの笠間らしいお土産がたくさん並んでいます。また、すっかり有名になった「いなり寿司」を中心に、うどんなどの飲食コーナーもあり、連日、多くの人で賑わいを見せて

います。同時に北関東自動車道初となるガステーション(24時間営業、セルフ式)もオープンしています。北関東自動車道は3月19日に太田桐生IC～佐野田沼IC間が午後3時に開通し、全線開通。これによって、東北自動車道だけでなく、関越自動車道ともつながるため、遠方からの多くの観光客の皆さんが、北関東自動車道を利用することが予想されています。ぜひ笠間PAにお立ち寄りいただき、その魅力を感じていただきたいと思います。

「くるみかご」プロジェクト進行中

街の活性化を目指して／笠間稲荷門前通り商店街協同組合



【くるみかごメモ】 仲見世で実際に販売されていたお土産で、起源は不明ですが、北原白秋作詞の「笠間節」という唄の中で歌われていたことから、かなり昔（大正時代頃）から有名だったようです。笠間稲荷神社は別名「胡桃下（くるみした）稲荷」と呼ばれていたことからこの胡桃と深い関係にあったことも誕生のきっかけとなったと思われます。稲荷神社に参拝したあとは、「くるみかご」を買うことが、笠間に来た証でもありひとつのステイタスだったようで、中身は胡桃の形をした「干菓子」が5個くらい入っていたそうです。しかし、竹の採取量や竹細工職人の減少などで、この「くるみかご」も昭和40年代には姿を消してしまいました。

1. 沼田雄一郎さん。笠間稲荷門前通り商店街協同組合事務局。 2. くるみかご。昭和40年代まで実際に、笠間土産として販売されていた貴重な「くるみかご」の実物。 3. 昨年10月16日に、くるみかごプロジェクトPRのために作られた紙製の現代版くるみかご。 4. 干菓子の木枠（笠間市大町の富田製菓さん所有）。

昨年7月に、笠間稲荷門前通り商店街協同組合が企画した「きつね」と「くるみ」と「門前通り」をテーマにしたプロジェクトが、茨城県を中心商店街活性化コンペ事業の優秀プラン賞を受賞。県の補助金を受けながら、「かさま狐の嫁入り」と「くるみかご」プロジェクトが現在進行中です。今回は、協同組合の事務局をされ、「くるみかご」プロジェクトを担当されている沼田雄一郎氏に話を伺いました。

「くるみかご」は、昭和40年代まで存在していた、主に仲見世で販売されていた伝説のお土産です。現代

版の「くるみかご」を作ろうと、協同組合の皆さんが熱心に協議を重ねており、昨年10月16日の、「かさま狐の嫁入り」事業の際に、広くPRをしようと、紙製の「くるみかご」を200個作成して、お客様に無料で配布しました。しかし、門前通りでは、お土産屋や飲食店の他にも様々な業種のお店があり、統一した「くるみかご」を作るには難しい課題があります。組合の皆さんは熱心に知恵を出し合い、また、県の担当者やコンペ審査員のアドバイスを受けながら、プロジェクトを進めています。春には、門前通りの地図や稲荷

神社のイベント（祭事）、商店街や町名の由来などを紹介した「門前くるみ版」という“かわら版”が発行されます。また、この「門前かわら版」をベースにデザインした、手ぬぐい、タオル、シールなど、各店舗で利用できる共通性のあるグッズを考案中です。難しさが懸念されてはいますが、「くるみかご」という芯となるものがあれば、共有できるものを見出すことにより、これからの事業展開が期待されています。春以降、現代版「くるみかご」がどのように形になっていくのか見逃せない、笠間稲荷門前通り商店街です。

新しいニーズを作り出す「笠間発見伝」

小沢に訊け！最終回

これまで10回にわたり観光推進マネージャーとしての考え、活動内容などを書き綴って参りました。今回が最終回。改めてバックナンバーを読み直してみると、一応は有言実行の自己評価です。

「イベント依存から通年型観光地を目指す」この目標で3年間活動しました。まだまだ、目標達成は先の先です。しかし、目指す道筋は確実に出来てきました。

これからも、観光推進者・関連従事者の皆様には、笠間発見伝のコンセプト＝笠間の魅力を発見し伝えることで質を高めていく、この活動を確りと継続して頂きたいと思うところです。加えて、お願いがあり

ます。笠間に観光でお見えになるお客様は、「笠間を選んで来ている」ということ。「選んで」いるのです。つまり、Aへ行くのか？ Bへ行くのか？ 笠間に行くのか？ 検討し、結果として笠間を選んで来てくれている。大変光栄なことなのです。勿論、リピーターも含め、お見えになるお客様の全てが、笠間に行くことと決める（決意する）背景に、笠間の競争相手が存在しているのです。そして、お客様一人一人において笠間を選んで理由が異なり、期待するものも異なる。私たち観光地の受け側は、ともすると先週のお客様も、昨日のお客様も、今日のお客様も全部一纏めにお客様として

小沢 敦…茨城県初の観光推進マネージャー。大手旅行代理店より笠間市へ出向中。

見ている、そういう感覚に成ってはいないだろうか？ 私たちの目の前のお客様は、初めてのお客様もリピーターであっても、来訪の動機は、実際には全て異なっているのです。そこを意識しているか？ いつも自問自答して欲しい。この意識改革を進めていける観光地が質の高いホスピタリティを提供でき、お客様に支持される観光地になるのです。

笠間で3年間仕事が出来たことは自分にとっても勉強になり、楽しい仕事が出来ました。そして、笠間ファン倶楽部会員の皆様、読者の皆様のご意見や感想を頂き大変ありがたいものでした。今後も笠間市をよろしく願いいたします。最後になりますが、皆様のご多幸ご健勝を祈念し結びとさせていただきます。3年間ありがとうございました。

決定！第11代 かさま観光大使

横山 紗織 さん

Q1 かさま観光大使に応募したきっかけは？

笠間図書館で、応募ポスターを見かけたことがきっかけです。笠間には観光名所や特産品だけでなく、陶芸体験など日常ではなかなか経験できない体験もできます。魅力あふれる笠間を、より多くの方に知っていただきたいと思い応募いたしました。



Q2 笠間でお勧めしたいスポットは？

「茨城県陶芸美術館」と「笠間工芸の丘」です。東日本初の陶芸専門の県立美術館としても有名な陶芸美術館。私もよく展示を見に行きます。笠間工芸の丘では、先日お箸を購入しました。お気に入りです。

Q3 趣味と特技は？

美術鑑賞とテニスです。美術関係の仕事をしているので、いろいろな美術館に行く機会も多いです。主に、県内、都内の美術館の企画展を見に行きます。学生時代、テニス部でした。現在も体を動かす程度ですが、続けています。

Q4 2011年の目標を漢字一字で表すと？（その理由も）

『知』です。笠間をもっと「知りたい!」という意味を込めました。

Q5 観光大使としての抱負は？

県内外たくさんの方に笠間の魅力を知っていただきたいです。



清水 まみ奈 さん

Q1 かさま観光大使に応募したきっかけは？

昔から歴史情緒にあふれた笠間市が好きで、海外の友人を案内したこともありました。そのとき、友人がとても喜んでいたのでみて、この魅力を日本の方はもちろん、海外の方まで知ってもらいたいと思い、そのために自分の留学経験を役立てられると思い応募

GOOD SHOP

観光客が選んだおすすめショップ

INFORMATION



駅から徒歩1分のビジネスホテル



ビジネスホテルあさひ

住／笠間市友部駅前3-14
電／0296-77-1230
営／チェックイン 16:00
チェックアウト 10:00



手作り陶器鉢で愉しむ、植物風景



植物工房 四季館

住／笠間市下市毛861-5
電／0296-72-7118
営／10:00～17:00
休／毎週金曜日 駐車場完備
http://www.sikikan.jp

手作りの陶器にこだわり、自由なスタイルの創作鉢から本格的な小品盆栽鉢や花器など、植物を愉しむための器が並んでいます。そんな手作り陶器鉢に植込んだ、盆栽、山野草、苔、多肉植物などの鉢植えや苔玉には心を癒されます。もっと気軽に、もっと身近に、植物を愉しむことが出来るでしょう。春の陶器市“陶炎祭”に初参加予定。乞うご期待！！

